

中央公民館主催「ウィンタースクール」活動報告

報告者／教育学科2年:橋本尚明、高橋ほのか、藤堂咲弥

GC 学科2年:中谷夏鈴

日時／2025年1月26日(日) 13:00~15:00

場所／広島市文化財団 中央公民館(中区西白島町 24-36)

目的／対象となる子どもたちと近い年代の講師による小学生の「考える力」を養う機会を提供する。

参加者／小学1~4、6年生 5名、学生ボランティア 4名



<活動内容>

内容	詳細
スノードームづくり	メインの活動として、「スノードームづくり」を行いました。ビーズが落ちてくる速さをイメージしながら水と洗濯のりの配分を調整したり、色々な種類のラメから、自分のイメージに合う色を一生懸命に考えて選んだりしている様子が印象的でした。最後には、作ったスノードームの瓶にシールで飾り付けを行い、みんな上手にスノードームを完成させることができました。
ジェスチャーゲーム	6つのテーマを用意し、順番を変えながらジェスチャーゲームを行いました。ウサギやクマ、運動会など様々なお題があり、難しいものもありましたが、複数の動きを組み合わせたり、数人で協力して伝えたりなど工夫している様子も見られ、楽しく取り組むことができました。
風船でミニゲーム	風船とうちわを用いたゲームでは、風船を落とさないようにつなぐミニゲームを行い、途中からは風船を増やしたり2チームに分かれて別のチームよりも長くつなげるというゲームをしたりしました。みんなで仲を深め、夢中になって楽しむことができました。

<感想>

- 前回のサマースクールに引き続き、2回目の参加でした。積極的に子ども達と会話をしたり、必要な場面では手伝ったりと子ども達と大学生が仲を深めながら活動できたいいイベントになったと思います。イベント前の参加者同士での交流や見守りなど課題も複数あったため、次回のイベント考案や大学での学修などに活かしていこうと思います。今後もこのような活動を通して、たくさん子ども達に素晴らしい思い出や経験を提供できたら良いと思います。(橋本)
- サマースクールに引き続きウィンタースクールにも参加させて頂きました。ウィンタースクールでは、スノードーム作りを行いました。子供たちそれぞれが自分で決めた色や量で制作したため個性が出てとても可愛いスノードームを完成させる事が出来ました。制作中に自分の好みに合わせて作る姿を見ていたからこそ完成したスノードームを見て喜んでいる子供たちの姿を見る事が出来て嬉しかったです。子供たちが新しい経験をする事が出来るきっかけになれたと思うと嬉しい気持ちでいっぱいです。(高橋)
- サマースクールに続いてウィンタースクールに参加させて頂きました。前回の反省点も踏まえながら、入念に準備やリハーサルを行うことができ、問題なく終わることができました。スノードーム作りでは真剣に作品を作る子どもたちの姿、ジェスチャーゲームや風船遊びでは子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。今回も子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。ミーティングやリハーサルを通して当日まで頑張って準備して本当によかったと思いました。(藤堂)
- 短い期間の中で、どのようなことをしたら参加してくれる子ども達が楽しんでくれるのかを考え、実行することができました。イベント当日は、子どもたちと全力で楽しむことができました。イベントを通して子ども達との関わり方について改めて考えるきっかけになりました。これから先でも、様々な活動を通して子ども達と関わることがあるので、今回得られた経験を活かしていきたいです。(中谷)